



# 新しい朝

府中市立府中第十中学校  
学校だより No.12  
平成30年2月8日

## 試練の先にあるもの

校長 竹内 康裕

誰の人生にも良いときやそうでないときがあります。物事がうまく運んで人生の勢いのようなものを感じることもあれば、苦難に直面して何とも言えない気持ちに陥ることもあります。私は、たとえ困難な状態になっても、命の危険がない限り決してあきらめないことが大切だと思います。ふとしたことからひどい目に遭っても、世の中のどうにもならないような流れによって困難の中においても、それを恨むのではなく、まずは耐えることを覚悟します。そして誠心誠意、何が正しいかを見誤らず、正しい方法でその局面を打開しようと努力と工夫を重ねます。その頑張りが自分を大きく育ててくれると思います。

困難に直面したとき、それに耐え立ち向かう人とそうでない人では、その先の将来が大きく違ってきます。気持ちが逃げてしまったり、打ち負かされたり、断念したりするのか。それとも、踏みとどまって克服・改善をしようとさらに努力を重ねるのか。ここが人としての成長の大きな分かれ道だと思います。

日本人の平均寿命は80歳を超え、昔に比べて人生は長くなりました。試練の大小は様々で、いずれやってくることがわかっているものもあれば、ある日突然襲ってくるものもあります。暗く悲観的に受け止め、自分の不運をただ嘆くばかりか愚痴や不満を言い放ち、時には八つ当たりさえしてしまう。できることなら手を抜いてやり過ごしてしまいたい。そのような後ろ向きの考えはその人の心をさらにすり減らし、負の連鎖は加速します。

「成功」の定義は様々ですが、有名無名を問わず「人生の成功」を手にした偉人たちは、特異な才能の有無に関係なく、困難に正面から向き合い、思考は前向きで、一途で純粹です。私利私欲に惑わされず、正しい方法で一途に取り組む懸命さがその人を育て、やがてはそれぞれの「成功」に繋がっています。

大切なことは、目の前の困難や試練の受け止め方です。たとえ不幸の渦中にあっても「これも経験だ。」と前向きに考え、甘えを捨て、やるべきことを考えて、やってみて、また考えて……。能力の高低ではなく、その人の心の姿勢が未来を創るのだと思います。

冬の間の麦踏。麦はあえて傷つけることで立派に育ちます。自然木よりも剪定された木の方が成長は早いそうです。踏まれたり切られたりして痛みますが、その痛みをバネにするかのように成長するそうです。

例えば、勉強が苦手という悩み、もっと賢くなりたいという悩み、解決には時間がかかるでしょう。しかし、真剣に願い、正面から全力でぶつかり続け、耐えながら逃げずにやり抜くことで、本当の強さを自分の心の中に育てたいものです。

このことは学習以外のことにも当てはまると思います。

『冬来りなば春遠からじ』（英国の詩人：シェリー）



## ■□ 北多摩美術展覧会・府中市立小中学校連合同工美術展覧会 ■□

12/24(日)～28(木)、1/13(土)～14(日)の6日間、府中市立美術館で北多摩地区中学校美術展覧会が行われ、十中からは、1年生「モザイクタイル鍋敷き」、2年生「新キャラクター」、3年生「ゴッホ模写」を出品しました。

また、2/3(土)～12(月)の期間、連合同工美術展覧会が行われています。北多摩美術展の作品に加えて、1年生「連続模様(彫刻)」「卵を描く」、3年生「和菓子」を出品しています。

### 【出品生徒】

- 1年 桑田凌来くん、杉山友季哉くん、阿部夢月さん、江原有香さん、金子緋理さん、柘田詩織さん、吉田光希さん、小木晃良くん、下村咲萌さん、山田うみさん、朝倉幸之佑くん、天野幸汰くん、青山葉菜さん、斉藤楓佳さん、下田陽音さん、鈴木みづきさん、松橋愛さん
- 2年 打田咲愛さん、大池花菜さん、古賀咲楽さん、高橋知里さん、杉山未歩さん、福田凌くん、川島美月さん、杉本葵さん、山中杏美さん、山本晴菜さん
- 3年 中島清くん、杉田実優さん、瀧本理子さん、柘田基依くん、宮崎伊吹くん、小山莉子さん、矢澤美紀さん、片山幹大くん、綱島康成くん、浅沼日和さん、猿田真子さん、赤羽洸哉くん、鈴木大斗くん、川村紗来さん、小松原美紗さん、新澤磨奈さん、鈴木美紗央さん



## ■□ 東京都公立学校美術展覧会 ■□

2/13(火)～18(日)、東京都美術館にて、東京都公立学校美術展覧会が行われます。十中からは、2年生技術科「マルチラック」と「LED行燈」、3年生家庭科「絵本」を出品しています。

### 【出品生徒】

- 2年 城戸颯太くん、阿部真琴さん  
3年 柘田基依くん、浅沼日和さん



## ■□ 府中市立小中学校連合同書写展覧会・紙上展 ■□

1/20(土)～30(火)に府中市立美術館で府中市立小中学校連合同書写展が行われ、十中からは、18名の作品を出品しました。

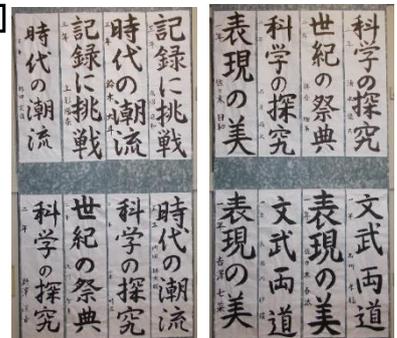
また、東京都中学校書写研究会主催の書き初め紙上展に9名の作品を出品しました。

### 【連合同書写展出品生徒】

- 1年 佐々木日和さん、吉澤七菜さん、佐々木泰汰くん、石川孝福さん、長谷川沙羅さん
- 2年 石井雄大くん、清水優月さん、及川智豊くん、勝倉翔英くん、野澤涼音さん、山本晴菜さん
- 3年 内田祥太郎くん、杉田実優さん、浅沼日和さん、上杉陽奈さん、鈴木大斗くん

### 【紙上展出品生徒】

- 1年 柘田詩織さん、吉田光希さん、野仲伶那さん、松橋愛さん
- 2年 赤松春佳さん、
- 3年 中島清くん、町田実優さん、高橋咲都子さん、鈴木美紗央さん



## ■□ ピョンちゃんまつり ■□

1月27日（土）に、西府文化センターにおいて、コミュニティ協議会と十地区青少対が主催するピョンちゃんまつりが行なわれました。十中からは、朝礼での生徒会からのユニークな呼びかけに賛同した9名がボランティアで参加しました。

輪投げコーナーの準備から運営、片付けまでのすべてを任せられ、工夫しながらやっていました。まずは会場作りですが、学年によって投げる距離に差をつけました。また、輪が入った点数によって景品が違いますが、「あまり輪が入らないので点数の基準を下げよう」とか、「何回も来る子には前よりも点数が多かった場合は景品を交換するようにしよう」などとルールを修正しながらやっていました。「ただ」やるのではなく、「少しでも子供たちに楽しんでもらえるように」「公平に」「景品がなくならないように」と、任せられた運営の責任を自覚してやれていたのはとても立派でした。

輪投げコーナーが終了し、片付けが終わると、青少対の皆さんが作ってくれた絶品のすいとんをいただきました。

これからも、多くの十中生の心にボランティア精神が芽生え、さらにボランティア活動が活発になることを期待しています。

### 【ボランティア参加者の感想】

- 西文関係のボランティアには初めて参加しましたが、小学生やそれ以下の小さい子供たちが思ったより多く来ていて驚きました。また、とても素直で可愛かったです。（3-1 庄司彩乃さん）
  - この活動を通して、先輩後輩関係なく、仲良く協力する大切さを学びました。「地域とのつながり」を大事にできる。そんな生徒がもっと増えてくれると嬉しいです。（2-2 杉田京さん）
  - 特に心に残ったことは、輪投げコーナーでの活動です。輪投げコーナーにはたくさんの子供たちが来て、とても大変でした。片付けの時はみんなで協力し、やっぱり十中生は協力することが得意なのだと思います。（2-2 小沼真拓くん）
  - 「ボランティアっていいな」と思いました。靴袋を配っている時に小さい子が「ありがとう」と言ってくれたりしてうれしかったです。2時間ぐらい立ったままではとても疲れたけれど、やりがいがありました。（2-2 高桑空輝くん）
  - とても疲れました。ですが、子供たちと触れ合えてとても楽しかったです。保護者の方々から「お疲れ様」「ありがとう」など感謝の言葉をもらって嬉しかったです。今後もボランティアに参加したいと思います。（2-2 高橋竜輝くん）
  - 前回の「クリスマスの集い」の反省を活かした行動をとれるように意識しながら仕事をしました。その中で、遊びに来る子の中には、1回だけではなく、何回も来てくれる子もいて、ボランティアのやりがいを感じました。自分より年下の子とのコミュニケーションのとり方も、やっていく中で学ぶことができたので、とてもいい経験になりました。（1-3 松橋 愛さん）
  - 私は輪投げコーナーの計算をやりました。計算が不得意なので少し心配しましたが、みんなのおかげで慣れることができました。（1-3 鈴木みづきさん）
- 他に、2-3 山崎滉斗くん、1-3 橋浦桜音さんが参加してくれました。



## ■□ 大雪 ■□

寒波の影響で各地で大雪となっていますが、先日、府中市でも、1/22（月）昼過ぎから23（火）の明け方にかけて大雪となりました。朝になると、校庭に降り積もった雪から蒸気が上がり、もやのかかった校庭から見た校舎は、何とも幻想的でした。

生徒の登校に備えて、職員が正門付近の雪かきをしていると、朝練に来た女子バスケット部とサッカー部の生徒が雪かきを手伝ってくれました。しばらくすると、後から登校してきた人たちも一緒に手伝ってくれました。そのため、多くの生徒が登校する時間には、正門や階段、横断歩道、歩道の雪をどかすことができました。

おかげさまで、雪で足を濡らすこともなく、滑って転んで大きな怪我をすることもありませんでした。給食トラックの運転手さんからも感謝の言葉をいただきました。本当にありがとうございました。

その後も、府中市では零下8.4度という、最低気温の記録を塗り替える低温に見舞われました。まだしばらくは寒い日が続きますので、体調管理には十分ご注意ください。



## ■□ 部活動 ■□

【吹奏楽部】 東京都中学校アンサンブルコンテスト A部門 銅賞

2年 岸川歩未さん・橋場彩香さん・山崎滉斗くん・小沼真拓くん・小島七菜さん・高橋竜輝くん・印南智樹くん

【女子バスケットボール部】 2年生の打田咲愛さんと多田理夏さんが、3/28（水）から行われる都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会の東京都中学生選抜チームの選手に選抜されました。

【硬式テニス部】 テニスコートの使用が再開しました。防球ネットを巻き上げるウィンチの故障のため長い間使用できなかったテニスコートの修理が終わりました。テニス部の生徒には不便な思いをさせてしまい、すみませんでした。これから思う存分、練習に励んでほしいと思います。また、感謝の気持ちをもって、施設を大切にしてください。



## \*\*\* 保護者・地域の皆様へのお願い \*\*\*

3/16（金）の③④校時に、3年生を対象に「命の授業」を行います。これは、自分の命と他者の命の大切さについて、また、命を受け継いでいくことについて考え、自分の未来をより良いものにしようとする態度と心構えを養うことを目的とした授業です。助産師さんと赤ちゃん&お母さんをお招きして妊娠・出産に関する講義と体験談をお話いただくとともに、赤ちゃんとのふれあい体験を行います。そして毎年、体験談やふれあい体験のために多くの保護者や地域の方々にご協力いただいています。

つきましては、今年度も命の授業にあたり、できるだけ多くの赤ちゃん（0～2歳）&お母さんが必要です。ご協力いただける方がおりましたら、副校長までご連絡ください。よろしくお祈りします。